冬の道 いそがず あわてず ゆっくりと

冬の交通事故防止運動（12／11～1／10）

「冬の交通事故防止運動」が十一日から一月十日までの一か月間行われます。

冬期間における積雪、凍結などによる道路事情悪化、交通事故の多発が予想されます。

また、年末・年始にかけて飲酒の機会も多くなり、市では飲酒運転の防止などを柱とした、強力な防止運動を展開します。

市民みんなで交通事故防止にご協力ください。

運動のスローガンは「冬の道 いそがず あわてず ゆっくりと」―です。

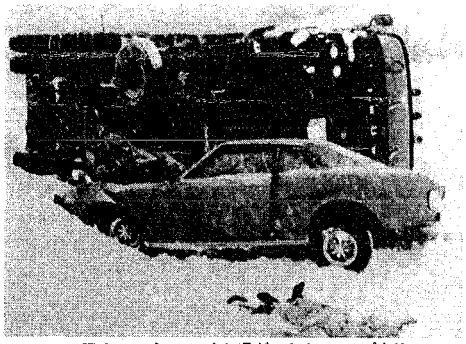
運動の重点は、①飲酒運転の追放②スリップ事故の防止③夜間事故の防止④踏切事故の防止―の四点。

飲酒運転の追放 年末・年始にかけては、飲酒の機会が多くなり、飲酒運転による事故多発が予想されます。家庭や職場で飲酒運転は絶対しない、させないようにしてください。

スリップ事故の防止 道路凍結、積雪等によるスリップ事故の多発が予想されます。スノータイヤ、タイヤチェーンの装着、スコップ、砂袋の携帯、安全な車間距離の確保に努め、安全走行を心がけてください。

夜間事故の防止 歩行者、自転車利用者に対し、明るい衣服の着用や反射器材等の整備活用を指導するとともに、特に老人に対し夜間外出をひかえるよう呼びかけます。

踏切事故の防止 踏切周辺の除雪、凍結防止に努めるとともに、運転者に対し、一時停止と安全確認の励行を指導します。



降雪時のスピードの出し過ぎによるスリップ事故

デパートが火事だ！

秋の消防訓練でした

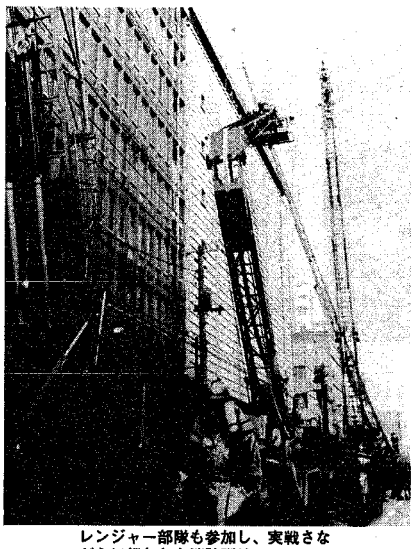
秋の全国火災予防運動の始まったさる十一月二十六日、東堀通六のイチムラ新潟店、長崎屋新潟店、和幸ビルを対象に消防訓練が行われました。

午前九時半、車の火災救助訓練から始まり、続いて長崎屋二階から出火、隣りのビルに延焼、各ビルで買い物客数人が救助をもとめている、との想定で行われました。

通報により、はしご車、屈折車、特殊消防車など十六台が出動。煙が立ちこめる中、レンジャー部隊がビルの屋上から、逃げ遅れたお客をタンカに乗せてロープをつたって救助。一方、酸素マスクをつけたレスキュー隊員が、店内からお客を救助するなど実戦さながらで行われました。

最後に一斉放水に移り、訓練を終わりました。

また、花園町の新潟中央病院でも消防車七台が出動し、消防訓練が行われました。



レンジャー部隊も参加し、実戦さながらに行われた消防訓練

高校生男

「十人に四人が毎日吸う」

ぐみの会、中・高校生の喫煙調査

「高校生男子のうち、十人に四人がたばこを毎日吸っている」―こんなショッキングな結果がでました。

これは、市ぐみの会生活学校が、中学生・高校生に「たばこ」がどのような意識でとらえられ、喫煙の実態はどうなのかーを調査した結果、わかったものです。

調査の対象者は、市内や近隣に在学の中学生・高校生男女三百六十四人。

それによると次のようになっています。

①「たばこ」を吸ったことがあるか？ 中学生男「ある」二六％、「ない」六九％、中学生女「ある」一二％、「ない」八四％、高校生男「ある」七一％、「ない」二七％、「ある」のうち、「毎日吸っている」三七％、「時々吸っている」一八％、「今は吸っていない」三四％、高校生女「ある」四五％、「ない」五〇％、「ある」のうち、「毎日吸っている」一九％、「時々吸っている」三二％、「今は吸っていない」四二％―となっており、高校生男子は四人に一人以上が毎日吸っており、時々吸っている人を加えると五四％にもなります。

吸った動機

「好奇心で」半数以上

②吸いはじめた動機は？ 中学生男「好奇心で」五二％、「人にすすめられて」一六％、「大人のまね」八％、高校生男「好奇心で」六二％、「人にすすめられて」二六％、「大人のまね」七％―となっており、好奇心でふと喫煙したことがやみつきになることが考えられます。

そのほか、「たばこ」を吸った感じは、吸う場所、我が子の喫煙に対する親の態度―などの項目やインベーダーゲームと生徒達のかかわりについても調べてあります。

ぐみの会生活学校では、「この調査が次の世代をになう青少年たちが、明るく健康に成長する手がかりの一端になれば…」と話しています。

初日に街頭指導

初日の十一日、午後三時からは、古町十字路で市民に交通安全を呼びかけるほか、小・中学生を対象に、交通安全書き初めを募集し、入選作品を公開展示して、交通安全思想を高めていく計画です。

街の中のこどもたち

二人乗り自転車

古町十字路附近を歩いていた。向こうから自転車がやってくる。スポーツバッグをハンドルに、高校生らしい。近づくにつれ後の荷台の両脇に長い脚が引きずるようにぶら下っているのが見える。二人のりである。前に立ちふさがるようにして「ちょっと！」「だめじゃないか！二人のりやめなさい！」やや怒気をふくんで言った。思わぬ注意に自転車はよろけながら止まり、荷台の男も飛びおりた。「二人のり悪いことは知っているんだろ！どこからのってきたの？」二人はバツが悪そうにテレ笑いをしたが、通行人の目を意識してか「何もこんなことくらいで注意するなんて……」という表情になった。

聞くと彼らは、白山公園附近から乗ってきたとのこと。今日だけではないし、まして注意などされたこともないとのこと。

彼ら二人のりの自転車は多くのオトナの目に触れてきたことは間違いないのだが、注意してあげる親切さはなかったものか。

「他人の子でも悪いことは注意すべき」の声はよく聞くが、その場になるとなかなかむずかしいらしい。でも……。

市民オペラ

1月20日に再演！

十月十日・十四日に上演し、好評を博した市民オペラ「赤いろうそくと人魚」が、市民のみなさんからの強い要望により、来年一月二十日に再上演することになりました。

このオペラは小川未明の原作をもとに脚色、作曲、演出、上演などすべて市民の手によってなされたのが大きな特徴です。

再演の入場券は明日、十日から発売されます。

前回、見のがした方、どうぞおでかけください。

◇ ◇ ◇

日時 一月二十日午後一時半開場、午後二時開演

会場 市音楽文化会館

入場料 千円（全席自由）

発売場所 音楽文化会館、カネコ楽器、しろせ楽器、名曲堂、小林デパート、名店デパート、大和デパート

健康相談

月日	会場	時間
12・12	鐘木会館	午前10時～正午
12・13	中野小屋連絡所	午後1時～3時
12・13	坂井輪地区保健センター	午前10時～11時半
12・14	北地区保健センター	午前10時～正午 午後1時～3時
12・14	石山地区保健センター	午後1時半～3時
12・18	木戸公民館	午前10時～正午 午後1時～3時

※坂井輪地区と石山地区は医師による相談です

成人病食事相談

〈西保健所会場〉
日時 12月11・25日午前9時～11時
申し込み 電話で西保健所（☎66―5171）
〈石山地区保健センター会場〉
日時 12月14日午後1時半～3時

老人出張健康相談

〈青年の家会場〉弁天3―3―2
日時 12月11日午前10時～正午 午後1時～3時
〈老人憩いの家「石山荘」会場〉
日時 12月13日午前10時～正午 午後1時～3時
〈老人憩いの家「鳥屋野荘」会場〉
日時 12月14日午後1時半～3時
※対象はいずれも60歳以上の方、またはその家族

血圧の高い人の生活と食事指導講習会

日時 12月12日午後1時半～3時半
会場 丸山公会堂
内容 ①生活指導②食生活の注意と調理実演③質問と試食
※あなたの家のみそ汁の塩分テストをします。希望される方は、コップに半分位を持参ください。

お誕生すぎの子どもの食事講習会

日時 12月14日午後1時～3時半
会場 西保健所
対象 昭和52年12月から53年11月までに生まれたお子さんをお持ちのお母さん
内容 幼児期に必要な栄養・正しいおやつの与え方・調理実習・育児指導など
持参品 母子手帳

幼児の食事講習会

日時 12月18日午前10時～正午
会場 東保健所
対象 1歳～5歳までの幼児をお持ちのお母さん
内容 幼児期に必要な栄養、おやつの与え方、調理実習など
持参品 エプロン、三角布、母子手帳
申し込み 電話で東保健所（☎41―4111）へ

離乳食講習会

〈石山地区保健センター会場〉
日時 12月11日午後1時～3時半
〈東保健所会場〉
日時 12月12日午後1時～3時半
〈北地区保健センター会場〉
日時 12月13日午後1時～3時半
対象 いずれも生後4か月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん
持参品 母子手帳

育児相談

日時 12月12日午後1時半～2時半
会場 東保健所母子相談室
持参品 母子手帳